請　願　文　書　表　（平成２４年６月２９日定例会再付託）

請願第１４号
　都跡地域ふれあい会館の早期建設を求める請願書（市民環境委員会付託）

平成２４年３月２１日受理
平成２４年３月２６日定例会提出
厚生委員会付託

請 願 者　●●●●●●●●●●●●●●●
都跡地区自治連合会
会長　藤　田　正　博
紹介議員　森　田　一　成

（要旨）
　都跡連絡所及び都跡公民館尼辻分館は、旧都跡村の役場及び議事堂として、昭和初期に建設され、昭和１５年に奈良市に編入された建物で、これらの建物は現在老朽化が著しく、耐震性も乏しい状態にあります。
　現在、都跡連絡所及び都跡公民館尼辻分館では、市の職員さんが勤務し、地域住民が多く訪れる施設であることから、もし大きな地震が発生した場合の安全性を心配されており、危機管理の面において不十分な状態となっております。
　このような状況を踏まえ、昨年１１月、私ども都跡地区自治連合会は地域要望を聞く会において、都跡地域ふれあい会館の早期建設の必要性について、仲川市長に直接強く要望させていただきました。
　ところが、平成２４年度奈良市予算案を見ますと、都跡地域ふれあい会館の建設についての予算が計上されておりません。
　予算策定段階では、私どもの要望を真摯に受けとめていただき、設計費、地質調査費、測量費等の予算化に向け、前向きに御検討いただいていると聞き及んでおりましただけに、全く予算化されなかったことは大変残念でなりません。
　奈良市第４次総合計画には、「地域ふれあい会館等の整備に努めます」と明記されているにもかかわらず、仲川市長からはいまだに新年度に予算化できなかった理由をきちんと説明していただいておりません。
　現在、開催されている３月定例市議会本会議において、市長は、「地域の実情や地元住民の声を聞きながら検討していく」、「改修や建てかえも視野に入れながら、関係各課と調整を図ってまいりたいと考えている」と表明されましたが、建物の老朽化はひどく、市の職員さんや市民の皆さんの人命にもかかわりかねないゆゆしき状態を放置することなく、直ちに地域ふれあい会館として建てかえしていただく必要性を強く感じております。
　地域ふれあい会館ができれば、都跡地区全体の地域活動を支える拠点施設として地域の活性化の進展はもちろんのこと、奈良市の発展にもつながるものと確信しております。
　奈良市におかれましては、私たち地域住民の声を尊重し、都跡地域ふれあい会館を早期に建設していただきますよう請願いたします。